

Jazz Interview vol.79

★期待の新星！ 注目の女性ベーシスト兼ヴォーカル！★ アーミ・ガジャガ【Amy Gadiaga】



写真提供：株式会社 P-VINE

♪ まずは、デビュー作品『オール・ブラック・エヴリシング』の待望のCD化決定おめでとうございます！ 楽曲、サウンド共に个性的で、あなたのベースワークとヴォーカルも素晴らしく、大変気に入っています。このアルバムにはどのような思いを込めているのですか？

本当にありがとう、気に入ってもらえてとても嬉しいわ！ 正直に言うと、収録した楽曲はかなり古いものなの。2020年の最初のパンデミックの前か、その時期に書いたのよ。その頃、私はまだ若くて、音楽院で勉強していたの。自分を表現したいという気持ちと、抑圧されていると感じていたことを覚えているわ。

♪ 1曲目の「Paloma Negra」は映像も拝見し、楽曲、ベースソロ、ベースワークにも感銘を受けました。「Paloma Negra」はスペイン語で「黒いハト」という意味のようですが、この曲にはどのような思いを込めているのですか？

その時、私はメキシコのフォーク音楽にとっても夢中で、ローラ・ベルトランのようなアーティストに多くの影響を受けたわ。愛と美を象徴するハトの寓話は、そのジャンルにおいて非常に重要なテーマなの。「Paloma Negra」は私の黒さを美しく、そして、その複雑さを讃えるためのオマージュなの。

♪ 「All Black Everything」は映像も気に入っています。この曲はBLM（ブラック・ライヴズ・マター）運動からインスピレーションを受けて制作されたそうですが、アーティストとしてのあなたの使命・役割について聞かせて下さい。

その通りで、この曲を書いていた時、BLM運動は多くの人の心の中で最前線にあって、もちろん私もその1人だった。その深い感情、つまり不正義への感覚が、当時

アフリカをルーツに持ち、パリ郊外で育ち 18歳でロンドンに移住、UKジャズシーン期待の新星として注目されている女性ベーシスト兼ヴォーカル、アーミ・ガジャガ。2022年にデビュー後、数々の賞を受賞。2023年にパラメンタリー・ジャズ・アワードの年間最優秀ジャズ新人賞にノミネートされた彼女のデビュー作品『オール・ブラック・エヴリシング』が待望のCD化決定！

このインタビューでは、デビューアルバムに込めた思いや日本について、ジャズ系の女性ベーシスト兼ヴォーカルとして、ジャンルを超えて活躍しているエスペランサ・スボルディングやミシェル・ンデゲオチェロについて、また、ファッションや趣味についてなど、音楽以外の話題についても気さくに語ってくれた。より親近感が湧き、とても貴重なインタビューとなりました。

今号の巻頭特集〈「現代版」ジャズ・ミュージシャン3つの願い【Part-8】〉でも素敵な“3つの願い”を寄稿してくれています。今後の活躍に注目の逸材です！

【取材・文：加瀬正之／取材協力：株式会社 P-VINE】

私の多くの曲に影響を与えたわ。改めて言わせてもらおうと、私は肌の色が原因で自分の人生がどう展開したかに関連した抑圧的な感覚やトラウマを抱えていて、それを何とか表現しなければならぬと感じていたのよ。

♪ 日本を訪れたことはありますか？ また、日本のイメージについて聞かせて下さい。

実は数日後に初めて訪れる予定です（2024年11月中旬時点）、とてもワクワクしているの。私は小さい頃からオタクで、日本の様々なサブカルチャーが今日の私を作り上げてくれたのよ。待ち切れないわ!!! それに、日本の音楽シーンは素晴らしいと聞いているわ。

♪ あなたは西アフリカのセネガル、ガンビア、マリをルーツに持ち、フランスのパリ郊外で育ち、18歳でイギリスのロンドンに移住されましたが、それぞれの国での生活はあなたの音楽にどのような影響を与えましたか？

私はフランスで育ち、子供の頃に両親と一緒にセネガルを何度か訪れたわ。パリ郊外（私の場合はパリの外れ）で育ったことは、最も楽しい子供時代を与えてくれたの。その場所から来ていることは、パリで生まれた人々とは全く異なる視点を私に与えてくれるのよ。パリの郊外出身であることは、まるで「行くべき場所」から自然に疎外されているようなものだと感じるの（笑）。だからこそ、郊外出身の人々だけが知っている独自のルールやコードがあるように思うわ。

♪ あなたがベースを弾き始めたきっかけ、歌を歌い始めたきっかけについて教えてください。

私はいつもアーティストになりたいと思っていたんだけど、



足掛かりとして楽器を演奏しなければならないと思っていたの。振り返ってみると、それは確かにそうだったように思うわ。私は2018年に合唱団に参加してから、本格的に歌うことに興味を持ったのよ。

♪ 強い影響を受けたベーシストを3人挙げて下さい。

1. チャーリー・ヘイデン
2. ロン・カーター
3. ジェームス・ジェマーソン

♪ 強い影響を受けたヴォーカリストを3人挙げて下さい。

1. カレン・クラーク・シェアード: 本当に偉大なアーティスト。
2. キンブラ: 私の気に入りのアーティストの一人で、彼女の声は素晴らしい。
3. スティーヴィー・ワンダー。

♪ 女性ベーシスト兼ヴォーカルでは、エスパンサ・スポルディングやミシェル・ンデゲオチェロが活躍していますが、彼女たちはあなたにとってどのような存在ですか？

私は2人の大ファンなの。19歳か20歳の頃、できるだけ多くのエスパンサ・スポルディングの曲を覚えた時期があったのよ。その頃はまだ歌い始める前だったけど、ただ彼女に近づきたいと思っていたわ。ミシェル・ンデゲオチェロのアルバム「ダンス・オブ・ジ・インフィデル」は、本当に私の一部のような存在よ(笑)。

♪ 強い影響を受けたアルバムを3枚挙げて下さい。

- 3枚では足りないわ、でもまあいいわ…(笑)
1. マイケル・ジャクソンの「オフ・ザ・ウォール」。子供の頃、毎晩部屋で1年間ずっとリピートして聴いていたの。
 2. タイラー・ザ・クリエイターの「ウルフ」。
 3. ベティ・カーターの「ドロッピング・シングス」。

♪ あなたの髪や衣装はとてもファッションブルで個性的で素敵ですが、ファッションについてこだわりなどはありますか？

わあ、それを聞けてすごく嬉しいわ、ありがとう!! 正直なところ、ファッションは私のとても大きな情熱であり、こだわりの。昔からデザイナーになりたかったし、子供の頃から服を使って自己表現をしていたのよ。私は表現を大切にしているんだけど、服はどんな方法でも自己表現をするためのとてもクリエイティブな(強烈なインパクトがある)方法だと

思うわ。以前は、デタ・フォン・ティースや、例えばオンラインで見かけた原宿のストリートスタイルのような、すごくキャンブなフェミニン・アイコンに夢中だったの。私の一番のファッションアイコンは、ナオミ・キャンベルよ、ひひ(笑)。

♪ 音楽以外に特別な趣味はありますか？

はい、実は私の一番の情熱はダンスなの(笑)。でも、ロンドンでダンサーとして活動するのはとても疲れるし、費用もかかるし、持続的にやる方法がわからないわ。それと、ドラマを観てももしないのも大好き! サイクリングやヘアメイクも好きだわ。

♪ 来年2025年に何か特別な計画はありますか？

次のプロジェクトを発表して、日本に戻ることができたいいなと思っているわ(そこでライブもできるかも??)。他のアーティストのために曲を書きたいとも思っているの。また、自分のエネルギーをもっと意図的に使えるように、上手く管理する方法を学びたい。そして、健康を維持していくわ。

♪ 最後に、The Walker's 読者と日本のファンにメッセージをお願いします。

日本という美しい国にファンがいることにとても感謝しているわ。日本の文化は、子供の頃から私に創造力と開かれた心を持つことを教えてくれたのよ。私の音楽を楽しんでくれて本当に嬉しいし、もっとたくさんの音楽を共有して、一緒に楽しさのある意味のある旅を作り上げたいわ! みんな自分らしく、健康でいてね。

【アーミ・ガジャガ X】@gadiaga_amy
【アーミ・ガジャガ インスタグラム】@amy.g.adiaga



『オール・ブラック・
エヴリシング』
アーミ・ガジャガ

2024.11.27 発売
株式会社P-VINE : PCD-25447
¥2,750 (税込)

待望のCD化が実現したアーミのデビュー作!